

おらの声

発行者：米沢市認知症地域支援推進員
高齢福祉課地域包括支援担当 ☎22-5111

◆◆認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指して◆◆

寒～い冬がやってきます。これからの季節、高齢者の徘徊などによる行方不明は凍死などの危険もあり、命にかかわる場合もあります。また、行方不明になってから時間が経つほど行動範囲は広がり、発見が困難になるリスクが高まります。

米沢市には、徘徊高齢者等支援事業事前登録制度「かえっぺ」「かえっぺシール」があります。認知症高齢者などで、徘徊等により行方不明になる可能性のある方が、名前や特徴、写真などの情報をあらかじめ登録しておくことで、早期発見に役立てる制度です。

このシールを身につけた方は
あなたの支援が必要な方です。

右記のQRコードを読み取ると、
伝言板の概要をご覧ください。



このシールを身につけた方を見かけたら、

- ◆ ご本人の正面から優しく声をかける。後ろからの声かけは禁物です。
 - ◆ スマートフォンでQRコードを読み取る。発見者がQRコードを読み取ると、瞬時にご家族へメールが送信されます。
 - ◆ 表示されたご本人情報を確認する。
 - ◆ 可能であれば伝言板に現在地などを入力する。
- ※ 伝言板上でのやりとりをするため、氏名や住所、連絡先の記載は不要です。個人情報の漏洩の心配はありません。
-
- ◆ QRコードの読み取り方がわからないときは、シールに記載されている登録番号を米沢市高齢福祉課や米沢警察署にお伝えください。

認知症に対する理解を深め、適切な関わりを持つことで、ご本人の安心につながり徘徊行動の抑制が期待できます。

◆ お問い合わせ ◆

米沢市 高齢福祉課 地域包括支援担当
電話：0238-22-5111（内線3907）



2022 世界アルツハイマー月間

認知症の正しい理解の普及啓発を目的に、認知症に関する展示を行いました。
イオン米沢店旧フードコートで沢山の声を頂きましたので紹介させていただきます。

少しの努力が認知症予防になるのだなと思った。とても興味がわいたので調べてみたい。
(小学生 女子)

認知症の方を介護するご家族の体験記や思いなどを聞いてみたい。
(30代 女性)

人が多く集まる場所で展示を行ったことでより多くの方が認知症について知る機会になり、認知症の人やその家族を地域で見守っていくという意識につながると思う。(20代 女性)

看護師を目指している。
認知症のことは学んでいたが展示をみて改めて認知症を学ぶ事ができた。
(20代 女性)

おじいちゃん、おばあちゃんがいるので認知症予防運動を教えてあげたい。
(中学生 女子)

認知症チェックをして、自分がまだ該当していないようで安心した。
(80歳以上)

認知症サポーターになりませんか？

現在、米沢市では市内のコミュニティセンターを会場とし認知症サポーター養成講座を開催しています。10月26日に万世コミュニティセンターで行われた認知症サポーター養成講座では、20代～70代以上の方が16名参加されました。



受講後、参加者からは『認知症の人の話を聞くことの大切さを再確認できた』、『認知症の方への対応方法がとても参考になった』『地域で安心して暮らしていけるようにコミュニケーションをとり、互いに支えあいながら生活していきたい』などの声が寄せられています。

米沢市認知症サポーター数
8,560名(R4.10.31 現在)

何ができるのかではなく、何から始めるか…その第一歩が認知症サポーター養成講座の受講なのかもしれませんね。
小学生から受講できます。認知症にやさしい米沢市をみなさんで目指していきましょう。認知症サポーター養成講座のお問い合わせ先は米沢市高齢福祉課（☎22-5111）です。